

よくあるご質問と回答 (FAQ)

2011年9月現在

商用について

Q デジタルペンソリューションの導入コストは？

A 当社はデジタルペンと紙の技術をベースとしたライセンス事業、およびデジタルペンの販売事業を行っており、エンドユーザー向け各種デジタルペンソリューションは、アノトパートナー各社が開発しご提供しています。よってシステム構築、用紙印刷、サポート等を含めたトータル導入コストは、当社よりお客様にご提示することができません。いずれかのアノトパートナーへご相談下さい。

Q デジタルペンの定価は？

A オープン価格です。パートナー向け価格については、お問い合わせフォームよりお問い合わせ下さい。

Q ランニングコストを知りたい。

A 当社がご提供するものでは、パターンライセンスの年間ロイヤリティが別途発生いたします。その他のランニングコストは、運用のしかたによっても異なります。デジタルペンソリューションを提供されるアノトパートナーにご相談下さい。

Q デジタルペン DP201 を使ったソリューションの開発および販売を行う場合に、どのような契約が必要になりますか？

A 日本でデジタルペンビジネスを実施していただくためには、当社とビジネスパートナー契約を締結していただく必要があります。詳細はお問い合わせフォームよりご相談下さい。

アプリケーション開発

Q デジタルペンを用いたアプリケーションを、自社で作成することはできますか？

A 可能です。デジタルペンを用いたアプリケーション開発には、アノト社提供の開発ツール等が必要となります。

Q アノト社で提供している開発ツールについて教えてください。

A アノト・マクセルでは、アプリケーション開発支援ツール Penit Navigator&Penit Processor をご提供しております。

- カタログ http://www.anoto.com/filearchive/2/22312/NAVI_PRO.PDF
- 価格
Penit Navigator V3.0 198,000 円 (税抜)
Penit Processor V3.0 29,800 円 (税抜)
- 用途 アプリケーションの開発と評価用
- 非商用デジタルペン ADP-201 1本、クレードル、USBケーブル、ペンドライバー、パターンライセンス (A4x256 ページ)、文字認識ライセンス、日本語サポート等が含まれます。
- 開発されたアプリケーションを商用でお使いいただくためには、別途、弊社との契約締結が必要となります。

A AnotoAB でも開発キットをご提供しております。こちらの付属ドキュメント、サポート等は、すべて英語になります。詳細は、お問い合わせフォームからお問い合わせ下さい。

- Start Package for Commercial Use 840,000円（税抜）
- Non-Commercial Start Package 240,000円（税抜）

Non-Commercial Start Packageは、非商用／大学向け研究開発用途限定です。

Q 既存システムへの接続は可能ですか？

A デジタルペンから送られるデータはすべて専用 API を通じて取得します。現在、この API は Windows7/Windows XP/Vista Java Servlet 用が用意されております。これらを利用できるシステムがあり、データを取得可能であれば既存システムへのインターフェイスを確立することにより接続は可能であると思われます。

デジタルペン

※本項目でご説明しているデジタルペンは、日立マクセル社製ペンイットデジタルペン(DP-201)およびアノト社製 ADP-201 を指します。

Q カタログはありますか？

A 下記ページよりダウンロードしてご覧下さい。

http://www.anoto.co.jp/filearchive/2/22311/ADP201_A.PDF

Q 防水性がありますか？

A デジタルペンは防水加工しておりません。水などが直接かかる場所や湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は故障の原因となりますのでご使用を避けてください。

Q 充電は充電器以外で出来ますか？

A パソコンの USB に接続しておくだけで充電を行うことができます。電流は最大 150mA です。

Q 充電はどの程度の頻度でしなければなりませんか？

A 使用頻度によりませんが、1日、1～2時間のご使用で3～4日に1回、1日3～4時間ご使用の場合は毎日の充電が目安となります。

Q 自然放電の目安を教えてください。

A フル充電後、キャップをした状態において約2ヶ月放置で電池残容量警告のLEDが点灯します。使用再開時は充電をお願いします。

Q クレードルとデジタルペンの抜き差しの耐久性はどの程度ですか？

A 3000回（1日2回の挿抜で、3年以上）の耐久性を有しています。

Q 電池交換は自分でできますか？

A 交換はペンを分解しての特殊作業になります。使用電池も特殊電池ですので、個人の交換は出来ません。ペン販売元へお問い合わせください。

Q ボールペンの芯は自分で替えることは出来ますか？

A デジタルペンのボールペンの芯を交換する場合は、ペンチ等でボールペン芯の先端を挟み、引き抜いて下さい。交換時は、替え芯が完全に挿入されるまで、押し込んで下さい。

Q 街頭で買った一般のボールペンの替芯は使えますか？

A デジタルペンには、デジタルペン専用のインクを使用しておりますので保証対象外になります。デジタルペン指定の替芯をお使いください。

Q 製品の寿命はどれくらいですか？

A 製品寿命は約 3 年です。(注：保証期間とは異なります。) これは毎日 3 時間程度使用した標準的な使用頻度を想定して算出しています。(この値は目安です。使用条件によって大きく異なりますことをご確認ください。)

Q デジタルペンはどのくらいのデータが記録できますか？

A A4 サイズ約 40 ページ分の記録が可能ですが、筆記内容により大きく変化しますので目安とお考えください。筆記内容は早めにパソコンに取り込まれることをお勧めします。

Q ペンのメモリが一杯になった時に知らせる機能がありますか？

A メモリが一杯になると未転送データを保護するため、新しい情報の取り込みが出来なくなります。この時、ペンがバイブレートして警告します。

Q デジタルペンが検出できる座標の精度・分解能はどれくらいでしょうか？

A ペンが検出するアドレスの誤差は、ドットパターンの分解能とペン筆記角度等の誤差を合算した最大 1.0mm となります。ペン先の位置とアノトパターンから算出したアドレスの誤差が変動します。この誤差が最大 0.7mm となります。

Q ペンからデータ転送する際のセキュリティ対策はどうなっていますか。

A USB によるデータ転送の場合

- USB によるデータ転送には、ペン専用のドライバーを必要とします。ドライバーのない PC に接続しても、データ転送は行われずペンにデータが残ります。
- データを受け取るアプリケーションが存在しないと、データ転送は行われずペンにデータが残ります。
- ペンにパスワードを設定することができます。ドライバーもアプリケーションも存在している時のデータ転送は、パスワードで制御することができます。パスワードの認証が行われないと、データを転送しません。

A Bluetooth におけるデータ転送の場合

- Bluetooth 規格に従いデータの暗号化が行われます。(規格に定められた範囲)
- ペンとデバイスのペアリング時、ペン毎に定めた PIN コードを必要とします。データは正当なデバイスに送られます。

その他、商用利用される場合のセキュリティ対策については別途ご相談下さい。

Q 個人でもデジタルペンは買えますか。

A 現在、日本では個人ユーザー様向けの販売を行なっておりません。法人ユーザー様向け限定販売になります。

Q 以前購入したマクセルペンイットデジタルペンを個人で使っているのですが(※)ノートはどこで買えますか。(※2011年現在、個人向けには販売しておりません。)

A あいにく弊社ではお取扱いをしておりません。消耗品やアクセサリ(ACアダプタ等)については、

アノトパートナーの株式会社八光興発アズシエル事業部のウェブショップからお買い求め下さい。

<http://www.nagano-mall.jp/shop/digital-pen/>

文字認識

Q 手書きデータを認識する、文字認識機能はありますか？

A デジタルペン本体には文字認識機能が搭載されておりませんが、デジタルペンのアプリケーションソフトと文字認識ソフトを組み合わせる事で、手書きデータをテキストデータに変換し、データベース化する事が可能です。

Q 文字認識率はどのくらいですか？

A デジタルペン本体には文字認識機能が搭載されておりませんので、当社では回答しかねます。文字認識機能をご利用になりたい場合は、別途、お客様ご自身で文字認識ソフトウェアをご用意していただく必要があります。

用紙／印刷

Q 用紙サイズは、どこまで対応なのでしょう？

A A0 まで対応しています。

Q デジタルペン用の帳票作成に専用ソフトが必要なのでしょうか？

A お客様の帳票デザインとアノトパターンを合成し、印刷データを作成するためには、アノト提供の専用ソフトおよびパターンライセンスが必要になります。ただし、お客様の帳票デザインを作成する際のソフトは何をお使いいただいてもかまいません。

Q デジタルペン対応用紙はどのように印刷するのでしょうか？

A アノトのオフセット印刷パートナーに発注いただくか、アノト認定プリンタによって印刷していただくこととなります。

Q 通常の紙に較べてどのくらい割高になりますか？

A 紙自体はごく普通の紙（コピー用紙など）を使うことができます。ドットパターンを普通の紙に印刷することで、デジタルペンは書いたものを読み取ることが可能になります。費用は、印刷パートナーや印刷方法によっても異なります。（オフセット印刷の場合／プリントオンデマンドの場合）例えばオフセット印刷場合、ドットを印刷する分、一色追加されるとお考え下さい。

Q 印刷認定取得の具体的な流れについて教えてください。

A オフセット印刷認定取得については、e-ラーニングプログラムによる学習のあとに、テストプリントをご提出いただきます。e-ラーニングは、すべて AnotoAB によって英語で行なわれます。印刷認定取得に必要な費用（オフセット印刷認定トレーニングパッケージ）については、お問い合わせフォームよりお問い合わせ下さい。

Q デジタルペン対応用紙はプリンタでも印刷できますか？

アノト認定プリンタで印刷可能です。機種は下記ページのプリンタ各社サイトでご確認下さい。

<http://www.anoto.com/printingprinter-partners.aspx>

Q 複写紙の利用は可能ですか？

A 可能です。

Q ドットパターンを複写機でコピーして使えますか？

A 使えません。

Q アノト認定プリンタ以外のプリンタで印刷した用紙は使えますか。

A 使えません。アノトの核心技術とも言える微細なドットパターンの印刷には、高品質・高精度が求められます。規格外のプリンタで印刷すると、デジタルペンに内蔵されたカメラがドットパターンを正確に読み取ることができません。

その他

アノトの技術を活用して独自に自社製品を開発・販売される場合、また紙以外に媒体にドットパターンを印刷して応用製品を開発・販売される場合は、お問い合わせフォームよりご相談下さい。

本FAQに記載されている内容は、予告なく変更する場合があります。